

区分	課題	課題項目	検討内容	必要な資料及び調査方法
森 林	治水対策上 森林が果たす役割	1. 基本事項 (1) 森林の状態による貯蓄効果について (ア) 殖生 人工林 天然林 (イ) 土壌 (ウ) 傾斜度 (エ) 整備状況	・河道外貯留を検討する上で森林にかかる期待は大きく、これまでのリバーミーティングにおける市民からの要請も多い。 一方、左記の条件による保水効果については、様々な意見があることから委員会における議論の材料を収集。	・公的機関におけるこれまでの研究成果について収集
		2. 森林が果たしている治水機能について (ア) 水源かん養機能 ・洪水緩和 ・水資源貯留 ・水質浄化 (イ) 土砂災害防止機能 ・表面侵食防止 ・表層崩壊防止	・森林には様々な多面的機能があるが、中でも治水に関する左記の機能について兵庫県全体の森林評価が行われており、同様の評価手法で武庫川流域の森林について評価を行う。 ・評価手法 代替法 ・(例) 水資源貯留機能の評価額査定方法 流域の森林地帯への降水量から樹冠による遮断樹木による蒸散を差し引いて森林土壌による流域貯留量(裸地との差を考慮)を算出し、これを利水ダムで代替する。	・評価について担当部局に依頼
		3. 森林整備による貯留効果等の向上について	・適切な森林整備と放置森林との治水上の効果について	・公的機関におけるこれまでの研究成果について収集

区分	課 題	課 題 項 目	検 討 内 容	必要な資料及び調査方法	
森 林		4．森林整備の方向について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の台風23号により多くの植林木が倒壊しており、今後の治水対策を検討するうえで、災害に強い森林づくりが必須である。災害に強い森林づくりについて資料収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い森林づくり ・ 健全な森林を育成するための林政の方向 	担当課から資料収集
		5．保安林（水源かん養等）の配備状況及び管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保安林指定の状況及びこれからの指定方針、整備について 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定の方向 ・ 整備方法、内容等事業計画 ・ 治山事業計画について 	
農 地	治水対策上 農地が果たす役割	1．農業の有する多面的機能について (ア) 水源かん養機能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水防止 ・ 地下水かん養 (イ) 河川流況安定機能 (ウ) 土砂災害防止機能 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌侵食（流出防止） ・ 土砂崩壊防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林と同様の方法で武庫川流域の森林について評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価について担当部局に依頼 	
		2．農 地 (ア) 農地を緊急時に遊水地として利用 (イ) 畦畔の嵩上げによる貯留効果 (ウ) 農地を遊水地に利用する際の地役権の設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地（水田、畑）の耕作状況及び今後の土地利用について ・ 圃場整備水田の嵩上げによる遊水地確保 ・ 地役権の設定状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町別農地（水田・畑）面積 ・ 市町別転作田、放棄田面積 ・ 水田（圃場整備）状況 ・ 先進地事例の資料収集 	担当課のヒヤリング

区分	課 題	課 題 項 目	検 討 内 容	必要な資料及び調査方法
農 地		3 . ため池 (ア) 老朽ため池 (イ) ため池の雨水貯留	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽ため池を貯留地として利用 ・ ため池により一時貯留し洪水軽減を図る ・ 空き容量による雨水貯留効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽ため池の現状について担当課から資料収集 ・ ため池10,000㎡以上 (資料あり)
流 域 管 理	交流の推進	1 . 上流、中流、下流は、互いに理解を深めることにより治水対策が図られる。 上流 保全 労力、資金不足 中流・下流 災害防止 労力、資金豊富	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流域は一つの運命協同体であるという認識のもと 互いの理解を深めるため交流の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県矢作川流域における矢作川方式の先進事例 資料収集